

# がん対策の推進

埼玉県保健医療部疾病対策課

## 1 目 的

本県のがんの実態把握や、がん検診の受診促進、がん検診精度の向上により、がんの早期発見・早期治療に繋げるとともに、がん医療提供体制の充実を図るほか、若年がん患者への支援を行うなど、がん対策を総合的に実施する。

## 2 予算総額 213,497千円

## 3 事業概要

### (1) がん実態把握とデータの活用 17,984千円

- ア がんの実態を把握・分析するため、国内統一基準で全ての病院等の協力により、がん登録を推進する。
- イ がん登録のデータを活用し、がん検診の精度を評価する。

### (2) がん医療提供体制の充実・強化 114,895千円

地域がん診療連携拠点病院(11病院)の質の高い医療提供体制の充実を図る。

### (3) がん対策の推進 12,465千円

- ア がん検診の受診を勧める「がん検診受診推進サポーター」、「県民サポーター」を養成するとともに、市町村がん検診の精度向上を支援する。
- イ 小・中・高生を対象としたがん教育出前講座を開催する。
- ウ ピアサポーター(がん治療体験者)の派遣による相談を実施する。
- エ 企業経営者向けにがん患者の就労に関する啓発講座を開催する。

### (4) 小児・AYA世代の若年がん患者への支援 68,153千円

- ア 小児がん治療施設にTV会議システムによるネットワークを整備する。
- イ 長期入院を要する高校生に対する在籍校と連携した学習支援を実施する。
- ウ 将来の子どもを産む可能性を残す妊孕性温存治療への助成を行う。

\*妊孕性(にんようせい)温存治療とは、がん治療等により将来妊娠の可能性が消失しないよう生殖能力を温存するための治療のこと

#### 長期入院を要する高校生への学習支援

